

# 茨城剣道連盟 報

令和5年7月発行

一般財団法人 茨城県剣道連盟



山岡鐵舟書「寿」(コトブキ)

参考図書 全生庵所蔵 文化財図録 山岡鉄舟

\*山岡鉄舟は剣、禪、書の大家である。初代茨城県知事として活躍する。

## 主な記事

|   |    |                                   |    |
|---|----|-----------------------------------|----|
| 会長就任のご挨拶(水田重則).....                                     | 2  | 茨城県剣道連盟役員等退任者表彰.....              | 13 |
| 会長退任のご挨拶(小倉培夫).....                                     | 3  | 県内・県外大会記録 .....                   | 13 |
| (一財)茨城県剣道連盟 新副会長就任のご挨拶<br>(鈴木洋行・清水 修・寺田幸司・中村雅広・雨谷益水)... | 4  | 令和5年度・6年度(一財)茨城県剣道連盟 役員 .....     | 17 |
| 新たな歴史構築を目指して(齊藤克朗).....                                 | 6  | 令和5年度・6年度(一財)茨城県剣道連盟 理事 .....     | 17 |
| 生涯剣道 百寿の立会いを拝見して(本名和彦) .....                            | 7  | 令和5年度～8年度(一財)茨城県剣道連盟 評議員.....     | 18 |
| 居合道範士を拝受して(山崎明正).....                                   | 8  | 令和5年度・6年度(一財)茨城県剣道連盟 地区・職域 会長等... | 19 |
| 部活動地域移行は生徒のための施策(山下克久).....                             | 10 | 令和5年度・6年度(一財)茨城県剣道連盟 委員会 .....    | 19 |
| 令和四年度全国選抜剣道大会で優勝して(安田拓朗)...                             | 11 | 道場紹介 わたしたちの《どうじょう》.....           | 20 |
| 偉大な先輩方の背中を追いかけて(君島範親).....                              | 11 | 県内行事予定.....                       | 22 |
| 合格者の声   |    | 事務局だより.....                       | 23 |
| 剣道七段に合格して(田口健一).....                                    | 12 | 編集後記.....                         | 23 |
| 段位審査合格者.....  | 12 | 表紙 山岡鐵舟書「寿」                       |    |
|   |    | 裏表紙 茨城県立守谷高等学校 水戸葵陵高等学校           |    |

## 会長就任のご挨拶



(二財) 茨城県剣道連盟  
会長

水田 重則

このたび(一財)茨城県剣道連盟理事会のご推挙を頂き、会長に就任いたしました。まずは小倉前会長の四年にわたるご尽力に心より御礼申し上げます。小倉先生の温かいお人柄と強力なリーダーシップのもと、茨城県は一丸となって数々の大仕事を成功させ、さらなる飛躍を遂げました。

また、昨年(一財)茨城県剣道連盟(以下茨剣連と記す)は多くの方々のご祝福のうちに七十周年を迎えました。剣道大県といわれる茨城で、剣道の歴史を担ってきたお一人お一人のご尽力の賜物と存じ、いま、その歴史を引き継ぐ重責をひしひしと感じております。今回の就任をご恩返しのチャンスと捉え、諸先輩方のご指導の下、伝統ある茨城県の剣道・居合道・杖道のさらなる発展に全力を尽くす所存です。

私は中京大学体育学部武道学科を

卒業し、高校教師として赴任しました。赴任当初から小澤武先生、小澤武次郎先生をはじめ、これまでお世話になった茨城県の先生方は枚挙にいとまがありません。国体強化選手だった頃に最も多くの稽古を頂いた中村広修先生、筑波大の稽古に呼んでくださった今井三郎先生、審査に向けて数々の助言をくださった大祐一郎先生、公私ともに私を温かく迎えてくださった先生方、先輩方、剣友たちとの交流から、「終身極むる」の姿勢を学びました。高野佐三郎も「一度、慢心の生ずるや進歩たちまち止み諸多の禍根を生ずるに至る」と『剣道』(鳥津書房)の中で述べています。常に高みを目指し己を厳しく律して剣道を修行することこそ剣道人としてのあるべき姿だと考えています。

一九九八年に八段、二〇一六年に範士を頂戴し、この間、全日本剣道連盟で試合・審判委員、社会体育指導員委員として勉強させていただきました。また二〇二一年に社会体育指導員委員会担当の常任理事を拝命し、二年の任期を全ういたしました。こうした経験を、大恩ある茨城県に還元していければと考えております。

これまで連盟を支えてきてくださった方々の蓄積を大切にしつつ、古

稀を迎えた茨剣連を益々元気にしていきたいと決意を新たにしております。

具現する運営の所信として次の事項を提案します。

● 各委員会の更なる活用、活性化

現時点でも県の委員会はそれぞれが持ち場で力を発揮していますが、役員がより活躍しやすい環境作りを進めたいと思います。

● 良き伝統の継承

武道に惹かれる理由、稽古を続けている理由は人それぞれだと思いますが、多くの人は先人の教えを大切に修行に励まれているはずで、武士道に始まり脈々と育まれてきた武道としての伝統の継承と普及を、一緒に取り組んでいければと考えています。

● 相互に学ぶ

私自身は剣道を修行しています。居合道や杖道から学ぶことは多いと感じています。同じ茨剣連の武道として、交流を通じて学び合えればと思います。

● 裾野の拡大

いろいろ難しい時代にあって幼少年の指導にあたられている先生方に深く感謝しています。より具体的な対策を講じ、県内の剣道人口の拡大を目指していきたいと思っております。

● 切磋琢磨

茨城県には全国的に見ても強い選手、優秀な剣士が揃っています。また、剣道が好きで周りの人たちや地元の子どもたちと交流しながら稽古をしている剣道愛好家もたくさんいます。茨城県で道を求めて稽古をしている人すべてが相互に交流していただく機会を作りたいというのが私の願いです。

以上、皆さんに私の思いを知っていただくチャンスだと思いいここに記します。私一人ではひとつも実現できないでしょう。これから諸先輩方、茨剣連の運営に携わる方々のみならず、茨城県で剣道、居合道、杖道に関わるすべての方々のお力添えをいただき、茨剣連のさらなる飛躍を目指したいと思っております。

剣道は世界に誇れる日本の文化であり人間形成の手段として私たちは取り組んでおります。さらに、私たちはこの剣道を正しく理解し次世代に継承していく責務があります。茨剣連の活動は、これまでのように人間性豊かな取り組みを継続しつつ、全日本剣道連盟の示す識見豊かで本質を研鑽する和気藹々の組織として運営を心がけてまいりたいと考えております。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 会長退任のご挨拶



(二財) 茨城県剣道連盟  
名誉会長

小倉 培 夫

会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は本連盟の充実発展のために、多大なご支援、ご尽力を賜り心よりお礼申し上げます。

この度、令和五年五月二十八日(日)任期満了にて本連盟会長を退任致しました。

皆様のご指導・ご協力を賜りながら、大過なく職務を全うできました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

会長は二期四年二か月でしたが、十三年と二か月間事務局に勤務させていただきました。平成二十二年に公立高校退職し、四月一日より本連盟の役員として推挙されて、副理事長、専務

理事、副会長、会長と充実した十三年二か月間でした。

平成二十三年の三月、東日本大震災、施設のほとんどが利用できない期間、平成三十年、居合道全国大会が県武道館で開催、翌年令和元年、国民体育大会が筑西市で開催、令和二年からはコロナ禍のため多くの事業等が中止・変更を余儀なくされました。

昨年十二月には創立七十年記念式典を開催し、記念誌を発刊致しました。この二十年間は国体剣道競技四種別完全制覇、全日本選手権大会、全日本都道府県大会、全国健康福祉祭剣道大会、全国高等学校、大学大会、教職員大会においてそれぞれ優勝、その他多くの団体・個人選手が入賞しました。これも皆さんのご尽力の賜です。

中でも筑西市下館総合体育館において開催された天皇陛下御即位記念第七十四回国民体育大会は、全国から選手、役員、一般観覧者など約二万人が来場しました。大会は本県選手が激闘

を制して、少年男女、成年男女の「四種別完全優勝」を達成し、これ以上ない国体になりました。

その活躍は大会を大いに盛り上げ、本県やふるさとの方々に感動と元気を与えてくれました。天皇杯得点一五四点は、本県全種目のトップの成績で天皇杯・皇后杯獲得に大きく貢献しました。加えて、競技運営やおもてなしの心も素晴らしく、好評を頂いたことは記憶に新しいところです。そのレガシーを承継する目的で、国体開催記念第一回茨城県地区・職域対抗剣道大会を開催致しました。

七十年という節目に「不易流行」「剣道の根底に流れる不易なもの」とは何かを自問する契機になりました。今、私たちは科学技術発展の中で便利さに慣れ過ぎています。物質的豊かさの中で困苦欠乏に堪える力が弱くなっています。高齢化や核家族の中で親子関係の情などにも変化をきたしているようです。このような中で、私たちが生きて

いくこれからの社会は、変化の多い不透明な厳しい時代になると言われています。何が起るか分かりません。思いもしないことが起こるかもしれません。しかし、時代が大きく変化しても、変わらない本質的なものがあります。本連盟は「剣道の根底に流れる不易なもの」を引き継ぎ正しい剣道を次世代に承継する責務があります。これには皆様のお力が欠かせません。

最後に、この度の役員改選では本部執行部で私のほか副会長は平山恒夫、安俊寿、立野忠男、諏訪文夫先生はじめ各地区・職域会長等十六名の先生方が退任し、本連盟より感謝状を頂きました。

水田重則会長の下、新たな体制による尚一層の発展を祈念申し上げます。私も、会員として本連盟の発展に精進したいと考えております。今後ともよろしくご厚誼の上、ご指導お願い申し上げます。

(一財) 茨城県剣道連盟  
新副会長就任のご挨拶



鈴木 洋行

この度、役員改選において本連盟の副会長にご推挙頂きました。先ず、ご勇退されました前会長の小倉培夫先生をはじめ多くの役員の皆様のごこれまでのご尽力に、衷心より感謝申し上げます。

副会長として水田重則会長のリーダーシップの下、微力ではございますが本連盟の更なる発展のために力を尽くす所存でおります。

過日開催されました理事会での水田会長のご挨拶の「透明性のある組織に・・・」というお話を伺い、私の師匠であり元会長であった故尾坐原先生の「風通しの良い組織に・・・」のお言葉を重ね合わせました。

私は、副会長として会長の方針を捉え、支えとなり組織運営に携わりたいと思います。会員の皆様のごこれまで以上のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。超高齢化

社会を迎え、剣道界におきましても高齢者の剣道愛好家が増えております。高年齢者の大会などの行事も多数開催され成果を上げております。

しかし、少子化もあり、剣道人口の減少が、加速度的に進んでおりますことは、本連盟の課題であり、剣道界全体の重要課題です。この課題に組織的に取り組むべく、競技人口拡大プロジェクトが設けられました。有意義に機能させ、課題解決に取り組まなければなりません。中学校・高校における部活動の在り方など、大きな課題も山積みです。

剣道人口減少については、剣道道場連盟・スポーツ少年団の指導者の皆様のこれまでのご尽力に感謝申し上げますとともに、これまでに以上、本連盟との連携強化をお願い申し上げます。



清水 修

この度令和五年度の役員改選に

において本連盟の副会長に指名されました。非力な私ですが連盟発展のため精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

私は居住地が水戸市内ということもあり、二十代より自分の意志とは関係なく、気づいたら茨剣連の幹事の仕事を携わっていた、これが当時普通のことでした。高段者の予備審査会の立ち合い、先生方の送迎も記憶に残っています。時は流れ退職時に、当時の会長の高山陽好先生から事務局長の誘いを受け六年間勤務し、その後常任理事を経て今日に至っています。

さて、今年度の事業計画の重点目標は、(一)競技人口の拡大、(二)全国大会においての上位入賞、(三)中学校部活動の地域移行への対応とあります。少子化の中で(一)と(三)は喫緊の課題だと思えます。現に水戸市内の中学校では、今年剣道部が廃部になる学校があるとのこと。この度の役員改選では新会長の水田先生をはじめ副会長、専務理事等にプロの教員経験者が数多くおられますので心強い限りです。任期二年間、諸先生方と一緒に具体的な目に見える形がとれるよう努めて参りたいと思えます。

剣道人口の減少とともに、少年部

低学年を指導する先生の不足も出てきています。私が関係している東日本技術研究所武道館(県武道館)の剣道教室では、夕方五時からということもあり、定年延長の影響もあるのか指導者が定員割れの状況です。低学年対象の指導者は誰でもよいとは言えません。少子化での剣道人口の減少と小学校低学年対象の指導者不足の対策として、技術向上を目指す講習会ももちろん大切ですが、剣道は、楽しい面白い明日もやりたい、と思われるようなメンタル面も含めた指導者講習会等も考える時期に来たのではないでしようか。



寺田 幸司

この度の役員改選において、副会長に選任いただきました。元より浅学非才の私ですので、責任の重さに身の引き締まる思いであります。今までの本連盟への恩返しのため、微力ながら尽くしていく所存

です。

さて、このところ茨城県の大会での活躍は目を見張る思いです。全国的な大会で毎回上位に名前を見ることは大変、うれしく頼もしく思っております。これも、道場でご指導していただいている先生方をはじめ中体連、高体連、大学関係、また各職域、地域でご指導されている先生方のお陰と敬意を表すところで。

そのような中で心配されることでもあります。それは、連盟の会員の減少、特に少年剣士の減少は残念に感じます。平成の初めの頃と比べると、かなり深刻な状況です。

本連盟でも、普及委員会を中心に策を練っているところですが、何とか上向きの方向にいくように願っております。その為に、各分野で剣士を集めて、育てていかなければなりません。

今後は、このような課題を解決しつつ、益々「尚武茨城」の名を全国に広めていきたいものです。本連盟の会員の皆様に、ご協力をお願いし、就任のご挨拶といたします。



中 村 雅 広

本年5月に副会長にご推挙頂き就任しました中村雅広です。身に余る大役ですが、諸先生からのご指導と剣友の皆様方のお力添えを頂きながら、当連盟の発展のために少しでも貢献できるよう努めてまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、常任理事在任中に茨城国体が開催され、諏訪強化委員長以下、強化委員の皆様方と共に完全優勝を成し遂げることができました。しかし、その後、新型コロナが発生し、当連盟の各種行事が中止・延期となり厳しい時期が続きました。現在もまだ終息まで至っていないですが、だいぶ落ち着きも見え、剣道事業等も復興の兆しが見えてきました。今後は本連盟の課題でもある剣道の正しい普及・発展と最大の懸案事項である剣道人口の減少の対応に向け、関係各団体と会員の皆様方と協力し、全力で職務に取り組みしていく所存でございますのでどうぞ

よろしく願います。むすびに、会員の皆様方のますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



雨 谷 益 水

この度、副会長という大役を仰せつかり、身に余る思いと、今後、責を全うしていけるのか不安の気持ちで一杯です。微力ではございますが、誠心誠意、職務を務める所存でございますので、何卒ご指導、ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、前会長の小倉会長をはじめ、旧役員の皆様には、ここ数年のコロナ禍の中で、たくさん問題や困難がある中、連盟の運営にあたってこられましたこと、改めて敬意を表します。大変ご苦労さまでした。

私は、県道場連盟会長も任されている立場から、今一番の課題である剣道人口の減少という大きな永遠の問題に、少しでもお役に立てればと考えております。県道場連盟では

県内の各道場より登録人数を把握しており、その人数は減少しつつありますが約1800名の人数を保っております。この数字は全国一位という実績でもあります。私たちに剣道を志す少年・少女達を大切にしていかなければという、責務があると思います。

今年度より、部活動の地域移行に伴い指導者の養成が必要となっていきます。色々な角度から検証し、今後の移行を保護者の皆様にもご理解を頂けるよう、剣道界全体で考えていくことが大切だと思います。

そして、剣道のみならず、他のスポーツ（武道を含む）をする子供達も大変減少しています。そんな中どうやって子供達に剣道に目を向けさせるかは大変大きな課題だと思います。指導者である大人は、剣道の特性や素晴らしさを色々な手法により子供達に伝える必要性があると思います。

最後に、コロナ禍より新しいスタートとなる剣道連盟が、皆様のお力添えにより、益々発展することを願って、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 新たな歴史構築を目指して



(二財)茨城県剣道連盟  
専務理事

齊藤 克朗

新型コロナウイルス感染症との戦いが続いた三年間、会員の皆様方には本県の剣道等の継続に多大なるご尽力を賜りました。また、昨年度は本連盟の創立七十年目ということで様々な祝賀行事を行いました。これについても大いなるご支援とご協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

令和五年度は、本連盟の新たな歴史へのスタートの年になります。大きなスローガンとして「本連盟の新たな歴史構築に向けた取組の推進」を掲げ、連盟定款に記載してある「目的」及び「事業」を基本方向とし本年度の「重点目標」を三つ定めました。

一つ目は本連盟の最大の課題である「剣道等の競技人口の拡大」です。急激な少子高齢化の進行とともにコロナ感染症による行動制限も加わって剣道等の競技人口減少が気になる状況になっていきます。本連盟では委員会組織内に「競技人口拡大プロジェクトチーム」を発足し減少の食い止めと愛好者拡大を図りたいと考えています。各地区連盟においてもそれぞれの現状を踏まえて活動の充実を図り、これまで以上に剣道等の魅力を発信し入門者の確保に努めて欲しいと思っています。

二つ目は「剣道等の全国大会においての上位入賞」、剣道に限らずスポーツ選手の活躍は社会全体に活力を与えます。剣道においても更なる活躍が剣友の元気の源となっておりますので、本年度も更なるレベルアップを図ってまいります。

三つ目は「中学校部活動の地域移行への対応」です。いよいよ令和五年度を開始年として中

学校の部活動が地域に移行されます。地区連盟には学校や教育委員会から指導者派遣の要請が予想されます。地区連盟でも指導者の養成が急務で、会員への公認指導者資格の取得とともに様々な講習会等への参加促進を促し指導者組織の整備を図って

こうした「重点目標」の達成を目指した活動への意欲が本連盟の新たな歴史構築への第一歩になるものと思います。本年度も会員の皆様方それぞれの活動が一層充実されますことをご期待申し上げます。



## 生涯剣道

## 百寿の立会いを拝見して



剣道教士八段

本名 和彦

緑風薫る五月の京都、第一一九回全日本演武大会が武徳殿で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により二年間中止となり、再開された昨年は無観客開催。朝稽古は引き続き中止になったものの今年には演武当日のみ観戦が許可されました。

今年百歳にして武徳殿に立ち、生涯剣道のお手本ともいえる高崎慶男先生（範士八段）とは、恩師の故大窪長寿先生（元日立地区剣連会長）、故羽賀紀正先生（元茨剣連副会長、元相談役）がご存命の頃、聖護院御殿荘（武徳殿近くの定宿）で何度か同室させていただきました。先生方の剣道談義は私にとって今でも貴重な財産となっています。また、松風館（館長：岩立三郎範士八段）では八段受審前からご指導いただいております。感謝の言葉しかありません。

五月五日、自分の立会い（北海道・佐賀豊教士八段）を昼前に終え、そのまま武徳殿に残り、範士の先生方の立会いを拝見させていただきました。武道センターの範士控え席に居られた高崎先生に「百歳の記念すべき立会い、この目でしっかりと拝見させていただきます」とお声掛けし穏やかにこくりと頷かれました。数年前に大病を患われ、不屈の精神力で克服された先生の表情は充実感に満ちており、覚悟すら感じられました。

立合いは当初予定されていた山口県の坂井年夫範士から変更となり、昨年（白寿）と同じ、岩立先生がお相手となりました。武徳殿中央で構え合った両範士、高崎先生は凛として、とても百歳の立ち姿とは思えません。気の充実とともに一分の迷いもない自然体そのものと拝察しました。初太刀、岩立先生の気攻めからの面を一步も退くことなく表鎧で受け流し、二合目、高崎先生が右足で間を詰め、正中線を攻めつつ機会と見るや面。三合目、同様に小手。最後は岩立先生がすつと間をきった刹那に面に伸びて立合いが終了し、この日いちばんの拍手が贈られました。面を外された先生のもとに駆け寄り手を握らせていただいた時は、

思わず熱いものがこみ上げてきました。

高崎先生から米寿の記念として戴いた手拭いには「剣縁無上」と書かれています。

ご高齢になられてからも全国各地に剣道具を担いで「剣縁」を深められた高崎先生の剣道人生に心から敬

意を表します。これからもお元気で、末永く御長寿を重ねられますよう心よりご祈念申し上げます。

## 追記

高崎先生が詠まれた数ある中の一句を紹介します。

「武徳殿踏んで皐月の砂時計」



(写真提供 全日本剣道連盟 令和5年 京都大会にて)

## 居合道範士を拝受して



居合道範士八段

山崎 明 正

この度、京都での称号審査会に於いて全日本剣道連盟より居合道範士の称号を賜りました。

これも偏に茨城県剣道連盟前会

長小倉倍夫先生、会長水田重則先生はじめ剣道連盟の各先生方居合道部部长平野政弘先生、師匠であります小林忠雄先生、諸先生、諸先輩剣友の皆様の温かいご支援ご教導の賜と心より感謝申し上げます。

範士称号など私の居合道人生の中において拝受できるとは思ってもいませんでした。

剣友の皆様から祝福の言葉を賜り範士としての重みや自覚を感じてまいりました。五月二十八日「範士証書」を水田重則会長より伝達授与頂き改めまして範士という最高位の重みを感じ、身の引き締まる思いでございます。御教導を賜

りました皆様方に感謝の念に堪えません。

顧みますと私の小学校の卒業アルバム文集に「僕は中学に行ったら剣道部に入り将来は剣道日本一になります」と秘めたる夢を書いていました。中学・高校で剣道部で稽古に励みました。

大学で初めて居合道と出会い、いつの間にか五十年が経過いたしました。

本当は、あの思い続けた夢に向かって大学でも剣道を続けて行く筈でした。ところが新入生勧誘会で、先輩から「居合道部に入っても剣道はできるよ。居合道部は殆どが剣道経験者だから時間がある時に稽古できるよ」の言葉で入部してしまっただのが居合道との出会いでした。

私の入学した東海大学体育学部には武道学科があり全国から剣道の優秀な学生が集まっております。

まして私は、政治経済学部であり、高校時代の戦績などなかったので、居合道部の誘いの一言にひ

き込まれてしまいました。

今思うと、この入部の選択により剣道日本一の夢は夢となってしまいました。私の居合道人生の始まりとなる選択でありました。

当時は、剣居一体の言葉すら知りませんでした。高校時代まで剣道をしてきて対人から仮想敵に代わり、その敵を見いだせる心境になる事の居合道の深さと剣道の深さは一体であることを感じるようになったのは、つい最近の事です。創部間もまなかった居合道部は古市典雄先生にご指導いただきました。武道館の芝生の上で木刀での素振り、抜き付け、初

発刀の一年間でした。最終学年の四年生の時に関東学生居合道大会団体戦で優勝できましたのも、厳しくも優しい先輩方のご指導や同僚後輩と共に稽古に励んだ賜物と思えます。卒業して帰郷し、故関

弘先生にご指導を頂き七段まで取得することが出来ました。先生の褒めながら且つ、少しずつ修正し、いつの間にか出来るようになっていた指導でありました。関先生亡

き後稽古から遠のいた時期がありました。居合道部前部長の範士

八段小林忠雄先生のご指導を頂けることになりました。もう一度「初

発刀・前」から、居合道の基本の業から徹底して指導して頂きました。段位としてもまだ七段であった私にこれからは居合道の本質を知る修行が始まりました。八段を目指す稽古の始まりでもありません。

「八段位は七段の延長ではないよ」形・気位・気攻め・業・すべてに於いて理合いに適った居合でなければならぬ。斬れる居合でなければならぬ、腹筋、背筋、腰と身体をいっばいに使い、肩、肘、

手首、指の先まで使う事、そして「手の内」が働くこと。懇切なご指導を頂き何とか八段に合格することが出来ました。然しながら、まだまだしっかりと修行に励んでいかなければなりません。「範士証書」を頂きその足で水戸から潮来へ走り小林先生にいち早く見て頂きました。「これから範士という山にまた麓からしっかりと登って行くんだよ」と重いお言葉を頂戴いたし

ました。一昨年より、居合道委員を拝命して、県内以外で講師として活動する機会を与えて頂きました。講習会では多くの参加者の方から様々な質問や意見を頂き、大変勉強になり、より以上に自分を高めていかなくてはならないと感じています。

全日本剣道連盟の剣道の理念と剣道修練の心構え・「剣道は剣の理法による人間形成の道である」この理念を基に礼節を尊び交剣知愛の輪を広げてまいりたいと存じます。

「武道に終わりは無い。だから道である。道とは人の守り行うべき正しい道であり、宇宙根本の心理である。」と教わりました。

この度、居合道範士を授与しましたが、もとより浅学非才の未熟者でございます。これからも一層の自己研鑽に励み、微力ではございますが斯道発展のため尽くして参る覚悟でございます。

今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



409

全日本  
剣道連盟  
山崎明正

居合道範士の称号  
を授与する

令和五年五月三日

公益財団法人全日本剣道連盟

会長 網代忠宏

## 部活動地域移行は 生徒のための施策



日本中学校体育連盟  
剣道競技部長

山下 克久

昨今の中学校の剣道人口は全国的にも減少しております。現場では、中学校から剣道を始める初心者を増やし、長年にわたって剣道を続けてくれる生徒を大切に育ていくことが望まれます。

小学校時代に道場で剣道を始めても、進学した中学校に必ずしも剣道部が設置されているとは限りません。また、剣道経験があり専門的に指導できる先生がいるわけではないというのが現状です。

そのような中、この度「部活動の地域移行」が国の施策として打ち出されたことは大変画期的であり、喜ばしいことだと考えます。この施策が打ち出された背景には、教員の働き方改革の観点から、部活動を学校教育から切り離すことで、少しでも負担を軽減しようとするねらいが

含まれています。

ご存じのとおり、学校部活動が子どもたちの健全育成のために大きな役割を果たしていたことは紛れもない事実であり、教員にとっても生徒とコミュニケーションを図りながら、ともに汗を流して成長できる大変意義のある活動でもあります。

しかし現場では、剣道がやりたくても剣道部がないために他の部活動に入らざるを得なかったり、剣道未経験のために技術的な指導が不十分な教員が顧問を務める学校では、生徒たちが不完全燃焼のまま三年間を終え、顧問教員も大きな負担を抱えていたりするという現実もあります。

今回の地域移行は、後者のような生徒が中学校生活の大切な思い出となる部活動を充実したものにするために、専門的な知識と指導力を備えた地域の方々へ指導をいただくことは、今後の剣道人生において宝となることでしょう。

技術の向上はもちろん、仲間と一緒に努力し、感動や充実感を味わいながら、地域の方々への感謝の気持ちを育むことなどが期待されるものだと考えます。

これまでの中体連主催の大会に

は、学校に剣道部がなくても校長の承諾のもと、大会に参加することはできましたが、「引率・監督は教員のみ」となっていたことから、大会のためだけに未経験者の教員が引率して参加していました。これでは、生徒が安心して最高のパフォーマンスを発揮できるとは考えがたく、監督席の教員も何も分からず不安を抱えて座っているという実態がありました。生徒にとっては、日頃から指導をいただいている先生

が、大会の時にもそばで見守ってくれていることが心の支えとなり、よりよいパフォーマンスを発揮できることは当然のことです。今回の改定で、校長が認めれば地域クラブ等の先生が引率・監督をすることが可能になりましたので、生徒だけでなく保護者にとっても大きな安心感につながると思います。

さらに、地域移行は、生徒自身がいけるようなスポーツ・文化活動に挑戦し、幅広い選択肢の中から自分に合ったものを選ぶというねらいをもった取り組みでもあります。決して強い子を集めて大会に出る「勝利至上主義」のために設けられた取り組みではありません。

県の「部活動ガイドライン」では、「平日五日間の内、四日間の活動で

一日二時間、土・日はいずれか一日の活動で三時間を上限とする」旨が示されています。これは成長期にある子どもたちの身体的負担を考慮した基準であり、地域クラブ等においてもこのガイドラインを遵守しなければ中体連には加盟できないことになっています。いづれにしても、地域移行は剣道に限らず、すべての子どもたちにとって好機となる取り組みでなければなりません。各自自治体を中心となって改革を進めています。指導者の確保、活動場所、会費等の金銭的なことも含めてまだまだ課題は山積みです。一人でも多くの子どもたちが、「剣道をやって良かった」と思えるような地域移行になるよう、微力ながら部長として精一杯努めてまいります。

茨城県剣道連盟の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



## 令和四年度全国選抜 剣道大会で優勝して



茨城県立守谷高等学校  
剣道部監督

安田 拓朗

この度、三月二六日～二八日に愛知県春日井市で開催された全国選抜剣道大会に参加し、悲願である一八年ぶり二度目の優勝を成し遂げることができました。

今大会から塚本浩一先生から私が監督を引き継ぎ、何としてでも生徒を勝たせたいという想いと監督として初めての全国の舞台であったので、生徒と共に相当なプレッシャーを感じておりました。今回のチームは、昨年度の全国選抜剣道大会から全ての全国大会でベスト8という結果であり、生徒たちもベスト8の壁を乗り越え日本一になりたいと強く願っておりまして。ベスト8の壁を乗り越えるために、今までと違った取り組みをしていかなければならぬと考え、大学生との練習試合や水戸葵陵高校男子剣道部の合宿への参

加など、生徒自ら厳しい取り組みを求め積み上げていきました。今まで大会前は怪我をしないように調整しながら大会に臨んでおりましたが、日本一にさせたいという強い思いで我々指導者も腹を括り、今回は大会直前まで猛稽古を行い大会に臨みました。生徒たちも他の学校より稽古を積み日本一の取り組みをしてきたという自信があり、緊張や不安なく会場入りすることができました。厳しい稽古やプレッシャーから逃げない取り組みが強い精神力に繋がり、全国選抜大会で優勝できたのだと考えております。

今回の大会に臨むにあたり、沢山の方々に支えていただきました。特に水戸葵陵高校の君島先生・中根先生には、守谷高校の生徒を限界まで追い込み奮い立たせる指導をしていただき感謝しております。水戸葵陵高校での経験が、最後まで逃げない諦めない試合に繋がったと思っております。

生徒たちは、夏のインターハイでも優勝し春夏連覇したいという目標があります。この全国選抜大会での経験を活かし、さらに精進して参ります。

## 偉大な先輩方の 背中を追いかけて



水戸葵陵高等学校  
剣道部監督

君島 範親

この度、水戸葵陵高等学校剣道部はインターハイ、全国選抜大会、玉竜旗大会に並ぶ高校四大会の一つ秋田県で開催された第五十回全国高校剣道大会において一八年ぶり六回目の優勝を果たしましたのでその報告をさせていただきます。

初めにこの結果は私たちだけの力ではなく、これまで本校に対しご指導、ご声援頂き育ててくださった先生方をはじめ関係各位に対し深く御礼申し上げます。皆様のお陰であると痛感しております。

この大会は、コロナ感染症の為に四年ぶりの開催となりました。一八年の間においては二、三位は数度ありましたが、前回の優勝は今回の選手たちがまだ生まれてなかったということに正直びっくりしました。

試合は三月二九～三一日の三日間で行われ本校の日程は過酷であり、二三

（二五日愛知県で行われた錬成会に参加し二六～二八日は愛知県で開催された全国高校剣道選抜大会に参加し初戦敗退と力を発揮することができませんでした。続いて二九日に東京都で開催された全国柴田旗争奪大会に参加し三〇日の早朝に秋田に入り、二回戦からの出場です。東海大仰星（大阪）を三人残して勝ち、三回戦長狭（千葉）四人残し、四回戦 秋田商業（秋田）を一人残し、五回戦東海大星翔（熊本）二人残しでベスト8に勝ち上がり最終日に残りました。三日準々決勝の相手は三養基（佐賀）で中学校時代活躍した前衛と力のある大将を有していましたがチーム一丸となって大将の酒井につなぎ大将戦に勝ち一人残して準決勝へ。相手は絶対的力を持つ島原（長崎）を副将の武本が副将、大将を抜き決勝へ進みました。相手は先の全国選抜優勝校の福大大濠高校に勝った郁文館（東京）でした。先鋒から一進一退の攻防が続く副将で一本リードを許しましたが返して五分で大将戦にまわりました。有効打突がないまま延長戦になり三回目に相手が休んだ瞬間を酒井は逃さず引き面を奪い優勝をつかみ取りました。

本校は『全国制覇』を目標に今後をこれに満足することなく茨城県の代表という自覚を持って精進してまいります。

合格者の声

剣道七段に合格して



土浦日本大学高等学校  
田口 健一

四月三〇日に京都にて開催された七段審査に合格することができました。指導してくださった芳明館の先生方、勤務先である土浦日本大学高等学校の生徒や卒業生に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

六段合格後の二〇二〇年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、各種大会が中止・延期され、剣道の稽古もままならない状況が続いていた日々でした。この逆境をどう活かそうかと考えた時に、ふと思いついたのが「基礎基本にもどる」ということでした。まず取り組んだのは走り込みで

す。剣道では、「一眼二足三胆四力」という言葉があるように「足」の重要性は周知のとおりです。また、「素振りの重要性」を理解し、大きく肩を使い、剣先が走るイメージで素振りを徹底的に行いました。

さらに今回、七段昇段に向けて意識したことは「自分のできることを精一杯」ということです。以前の審査で不合格に終わった時には「〇〇じゃなければいけない」「〇〇すべきだ」など自分のできないことや苦手なことを無理にやってみてしまいい、良い立ち合いができませんでした。そんな中、とある先輩から「格好つけるな！」「七段にもなっていないのに七段っぽいことするな！」と叱咤激励をいただきました。おかげさまで当日は余計なことを考えず、思い切り立ち合いができました。

今後も自分の鍛錬を忘れず師弟同行の精神のもと、生徒共々精進していきたいと思えます。

段位審査合格者

剣道七段

期日 令和五年二月十八日  
会場 長野市真鳥総合スポーツアリーナ  
高梨 賢吾 佐竹 裕哲  
岡崎 二朗 小島 英資

剣道六段

期日 令和五年二月十九日  
会場 長野市真鳥総合スポーツアリーナ  
矢口 剛 石原 明  
永瀬 清光

剣道五段

期日 令和五年二月十九日  
会場 県武道館  
須澤 晃 小又 修  
阿部 智之 岡崎 教之  
小杉 直 箕輪 大樹  
池延 浩幸 岩本 泰英  
高野 良太 安藤 有希  
竹川 雅人 小林 耕平  
篠崎 幸人 大野 貴史  
石井 陸 高津 英輔  
松崎賢士郎 袴塚 茂

剣道四段

門田 健吾 引田 智洋  
宮川 清志 河野 健太郎  
羽生 勝広 中島 翔  
深谷 昌史 永田 宗一郎  
岡崎 晃太 伊代田 尚吾  
山野 幹晴 伊東 真矢

渡邊 慶朋 高沖 隆斗  
岩崎 優人 上田 藍  
中村 明莉 菅原 優輝  
渡邊 颯斗 八木岡 諄彦  
川井 行汰 上野 将太  
松村明日実 瀧 菜都紀

居合道六段

期日 令和五年三月五日  
会場 京都市武道センター  
鈴木 琴子

杖道六段

期日 令和五年三月十日  
会場 江戸川区スポーツセンター  
西山 和位

居合道五段

期日 令和五年四月二日  
会場 わかぐり運動公園体育館  
徳宿 典孝 高橋 真由美  
藤崎 俊啓

居合道四段

矢治光一郎 小口 賢治

剣道六段

期日 令和五年四月二十九日  
会場 京都市体育館  
富澤 郁江

剣道七段

期日 令和五年四月三十日  
会場 京都市体育館  
田口 健一

居合道称号合格者

期日 令和五年五月三日  
会場 京都市体育館  
範士号 山崎 明正

杖道称号合格者

期日 令和五年五月三日  
会場 京都市体育館  
教士号 関 展秀

剣道称号合格者

期日 令和五年五月六日  
会場 京都市武道センター  
教士号 本多 史憲 廣瀬 寿嗣  
福本 俊彦

錬士号

宮内 勇二 金子 義英  
樋口 ゆう子 徳村 早苗  
斎藤 要 吉田 浩一  
阿部 孔一 佐竹 隆顕

剣道七段

期日 令和五年五月十三日  
会場 枇杷島スポーツセンター  
安田 拓朗 井坂 健治  
綿引 昭

剣道六段

期日 令和五年五月十四日  
会場 枇杷島スポーツセンター  
二宮 司 奥澤 裕希

剣道五段

期日 令和五年五月二十日  
会場 東日本技術研究所武道館  
糸賀 悠介 鈴木 晴久  
増子 孝洋 野沢 恵

剣道四段

郡司 誠一 佐藤 一生  
小澤 夕子 小野 かつお  
神山 敦行 小堀 桃佳  
亀崎 在 黒澤 仁  
東海林 武蔵 高津 佳吾  
金久保 柚葉 大竹 涼馬  
漆原 和幸 菅井 一宏  
辻本 吉廣

茨城県剣道連盟役員等退任者表彰

令和五年五月二十八日の総会において、役員改選により勇退される十六名の方々に「表彰規則第八条」に基づき賞状と記念品を贈り功労を労いました。

小倉 培夫 平山 恒夫  
安 俊寿 立野 忠男  
諏訪 文夫 梅村 恒雄  
糸賀 睦夫 杉野 壽一  
稲田 敏巳 岡部 弘  
眞谷 繁美 伊藤 治男  
曾雌 哲雄 小藪 壽嗣  
大高 幸夫 谷島 喜和夫



県内・県外大会記録

◆第四十五回全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城県大会  
期日 令和四年十二月十七日(土)  
会場 県武道館

(小学生団体の部)

優勝 日立市 「全国大会出場」  
準優勝 常総市  
第三位 つくば市、ひたちなか市

(中学生男子個人の部)

優勝 塚田隆明(常総市) 「全国大会出場」  
準優勝 佐藤悠大(日立市) 「全国大会出場」  
第三位 安東愛季(土浦市) 「全国大会出場」  
敢闘賞 神賀順道(ひたちなか市)

(中学生女子個人の部)

優勝 小磯結愛(常総市) 「全国大会出場」  
準優勝 飯塚彩弥(つくばみらい市) 「全国大会出場」  
第三位 宇津野未羽(小美玉市) 「全国大会出場」  
敢闘賞 成田帆花(常総市)

◆茨城新聞社旗争奪第四十回全国選抜高校剣道大会  
期日 令和五年一月四日(水)  
会場 アダストリアみとアリーナ  
(女子団体)

優勝 茨城県立守谷高等学校  
期日 令和五年一月五日(木)  
会場 アダストリアみとアリーナ  
(男子団体)

優勝 水戸葵陵高等学校

優勝 水戸葵陵高等学校

◆令和四年度茨城県高等学校剣道選抜大会  
第三十二回全国高等学校剣道選抜大会  
茨城県予選会

期日 令和五年一月二十日(金)  
会場 石岡運動公園体育館

(男子個人)

- 優勝 神賀 士道(茗溪学園高校)
- 準優勝 酒井 大翔(水戸葵陵高校)
- 第三位 浅野 達彦(土浦日大高校)
- 第三位 井関 蓮太(取手第一高校)
- 第五位 武本 瑠依(水戸葵陵高校)
- 第五位 川上 優輝(水戸葵陵高校)
- 第五位 入江 陽介(水城高校)
- 第五位 古沢 東暉(茗溪学園高校)

(女子個人)

- 優勝 五十嵐 和奏(守谷高校)
- 準優勝 村田 結依(守谷高校)
- 第三位 和田 那奈(守谷高校)
- 第三位 今村 真穂(守谷高校)
- 第五位 井上 優美(岩瀬日大高校)
- 第五位 中村 桜子(守谷高校)
- 第五位 大谷 彩葉(岩瀬日大高校)
- 第五位 手嶋 紀南(鹿島学園高校)

◆令和四年度茨城県高等学校新人大会兼  
第三十二回全国高等学校剣道選抜大会  
茨城県予選会

期日 令和五年一月二十六日(木)  
会場 県武道館

(男子団体)

- 優勝 水戸葵陵高等学校
- 準優勝 土浦日本大学高等学校
- 第三位 茗溪学園高等学校
- 第三位 水城高等学校
- 第五位 下館第一高等学校
- 第五位 下妻第一高等学校
- 第五位 取手第一高等学校

第五位 土浦第二高等学校  
期日 令和五年一月二十七日(金)  
会場 県武道館

(女子団体)

- 優勝 守谷高等学校
- 準優勝 取手第一高等学校
- 第三位 常総学院高等学校
- 第三位 鹿島高等学校
- 第五位 鹿島学園高等学校
- 第五位 水戸葵陵高等学校
- 第五位 下妻第一高等学校
- 第五位 茗溪学園高等学校

◆第1回茨城県学年別少年剣道選手権大会

期日 令和五年一月二十九日(日)  
会場 日立市池の川さくらアリーナ

(小学1年生の部)

- 優勝 川島 心晴(いばらき少年剣友会)
- 準優勝 岡野 杏(一心院道場一心剣)
- 第三位 渡邊あおい(緑岡少年剣友会)
- 第三位 伊藤 千颯(俊水館道場)
- 敢闘賞 西連寺桜優(いばらき少年剣友会)
- 白田 美月(益 水 館)
- 山本奈乃羽(俊水館道場)
- 渡邊 琉煌(仁 武 館)

(小学2年生の部)

- 優勝 雨谷 有花(いばらき少年剣友会)
- 準優勝 星野 滉葉(波崎修武館)
- 第三位 永山 陽太(日高道場)
- 第三位 岡野 武蔵(鬼怒西剣道クラブ)
- 敢闘賞 宮脇 直人(水海道剣道教室)
- 小堀 真歩(鬼怒西剣道クラブ)
- 沓澤 樹里(舟島剣道クラブ)
- 木本 龍杏(下館士徳会)

(小学3年生の部)

- 優勝 小島 悠正(下館士徳会)

準優勝 安川 豪騎(一財)勝田若葉会  
第三位 近藤 蒼真(下館士徳会)  
第三位 七川 瑛修(いばらき少年剣友会)  
敢闘賞 雨谷 怜(いばらき少年剣友会)

川上 大輝(水海道剣道教室)  
小松澤侑久(土浦建武館)  
北川 聖奈(いばらき少年剣友会)

(小学4年生の部)

- 優勝 佐々木羽琉(結城尚武館)
- 準優勝 新屋糸千果(伊奈剣友会)
- 第三位 清水 嘉仁(波崎修武館)
- 第三位 野本 宙(結城尚武館)
- 敢闘賞 下園 眞士(巧美会剣道教室)
- 松本 輝琉(栄剣道スポーツ少年団)
- 大泉 彪之介(百立ユニテ剣道クラブ)
- 前堀 咲(猿島剣友会)

(小学5年生男子の部)

- 優勝 北川 圭都(いばらき少年剣友会)
- 準優勝 渡邊 煌介(仁 武 館)
- 第三位 師岡 歩(いばらき少年剣友会)
- 第三位 荒井 楓太(猿島剣友会)
- 敢闘賞 和田英志郎(一財)勝田若葉会)
- 若林 三矢(鬼怒西剣道クラブ)
- 田口 慈人(一財)水戸東武館)
- 宮岡 晏叶(いばらき少年剣友会)

(小学5年生女子の部)

- 優勝 雨谷 凜(いばらき少年剣友会)
- 準優勝 清田 真央(俊水館道場)
- 第三位 木村 百花(猿島剣友会)
- 第三位 河津 華稟(水海道剣道教室)
- 敢闘賞 五月女 蓮(芳 明 館)
- 近藤 藍那(下館士徳会)
- 野高 由羽(猿島剣友会)
- 関口 心羽(結城尚武館)

(小学6年生男子の部)

- 優勝 師岡 亮太(明 信 館)

準優勝 藤本 健太郎(いばらき少年剣友会)  
第三位 内海 碧葉(青雲塾剣誠会)  
第三位 清水 教介(一財)勝田若葉会)  
敢闘賞 渡邊 大智(下館士徳会)

中村 康志(鬼怒西剣道クラブ)  
河田 侑磨(日立ユニテ剣道クラブ)  
岡野 快(一心院道場一心剣)

(小学6年生女子の部)

- 優勝 水野谷綾音(運 武 館)
- 準優勝 塩 菜々実(仁 武 館)
- 第三位 バルザーアリサ(御城館)
- 第三位 海老原杏莉(小川少年剣友会)
- 敢闘賞 中田 莉緒(水海道剣道教室)
- 影沢 夢(龍 士 館)
- 滑川 璃莉(俊水館道場)
- 鹿内 彩羽(運 武 館)

(中学1年生男子の部)

- 優勝 會田 拓海(舟島剣道クラブ)
- 準優勝 川島 大輔(いばらき少年剣友会)
- 第三位 野本 怜(結城尚武館)
- 第三位 芳野 要(舟島剣道クラブ)
- 敢闘賞 昆 秀馬(芳 明 館)
- 野口 晴大(一心院道場一心剣)
- 谷 翔磨(至誠朝日道場雅志会)
- 菊池 脩生(芳 明 館)

(中学1年生女子の部)

- 優勝 佐藤ほの美(波崎修武館)
- 準優勝 川上 心優(水海道剣道教室)
- 第三位 橋本 華(いばらき少年剣友会)
- 第三位 宇佐美華凜(いばらき少年剣友会)
- 敢闘賞 瀬谷 香菜(日立ユニテ剣道クラブ)
- 小松崎萌愛(一心院道場一心剣)
- 雨谷 星七(いばらき少年剣友会)
- 時田 迦弥(益 水 館)

(中学2年生男子の部)

- 優勝 會澤 日向(舟島剣道クラブ)

準優勝 佐藤 颯馬(水海道剣道教室)  
 第三位 松本 尊琉(土浦明心会)  
 第三位 高澤 孝栄(芳明館)  
 敢闘賞 川崎 泰知(芳明館)

角田 宗秀(一財)勝田若葉会  
 神賀 順道(一財)勝田若葉会  
 饗場 健太(龍士館)

(中学2年生女子の部)

優 勝 櫻井 菜成(青雲塾剣誠会)  
 準優勝 赤野間千穂(結城尚武館)  
 第三位 富山 陽菜(一心院道場)心剣  
 第三位 飯塚 彩弥(伊奈剣友会)  
 敢闘賞 松崎 亜美(日高道場)

杉山 咲妃(結城市武道館)  
 蒲生 有澄(結城尚武館)  
 武田 春花(東海村剣友会)

◆第七十一回全日本都道府県対抗剣道優勝大会茨城県代表選手選考会

期日 令和五年二月十二日(日)  
 会場 県武道館

(次鋒の部)大学生

第一位 松尾瞳太(筑波大)  
 第二位 高橋靖登(鹿屋体育大)

(五将の部)年齢18歳以上35歳未満  
 警察職員・教職員・高校生・大学生除く

第一位 松崎賢士郎(筑波大学院)  
 第二位 二宮 司(会社員)

(中堅の部)教職員・年齢制限なし  
 第一位 中根悠也(教員)

第二位 山下拓真(教員)  
 (三将の部)警察職員・年齢制限なし

第一位 遅野井裕樹(県警)  
 第二位 阿部莞太(県警)

(副将の部)年齢35歳以上/警察職員・教員除く

第一位 矢口二三也(刑務官)  
 第二位 神部栄司(自営)

(大将の部)年齢50歳以上/剣道教士七段以上

第一位 川崎 臣(教員)  
 第二位 中村裕一(県警)

※(先鋒の部(高校生))一月二十日(金)茨城県高等学校剣道新人大会で決定

第一位 神賀士道(茗溪学園)  
 第二位 酒井大翔(水戸葵陵)

◆第三十二回全国高等学校剣道選抜大会

日時 令和五年三月二十六日(二十八日)  
 場所 春日井市総合体育館(愛知県春日井市)

(女子団体)  
 優 勝 守谷高校

優秀選手 高橋ひかり(守谷高校)

◆第五十回記念魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会

日時 令和五年三月二十八日(三十一日)  
 場所 秋田県立武道館(秋田県秋田市)

男子団体 優 勝 水戸葵陵高校  
 女子団体 第三位 守谷高校

優秀選手

最優秀選手 酒井 大翔  
 優秀選手賞 村田 結依

◆第七十一回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

期日 四月二十九日(土・祝)  
 会場 エディオンアリーナ大阪

三回戦で大分県に惜敗

監督 阿部昭彦  
 選手

先鋒 神賀士道(茗溪学園)  
 次鋒 松尾瞳太(筑波大学)

五将 松崎賢士郎(筑波大学院)  
 中堅 中根悠也(水戸葵陵教員)

三将 遅野井裕樹(茨城県警察)  
 副将 矢口二三也(東京拘置所)

大将 川崎 臣(茗溪学園教員)

◆第四十九回茨城県道場少年剣道大会兼全国大会予選

期日 令和五年四月三十日(日)  
 会場 ひたちなか市総合体育館

(小学生の部)  
 優 勝 益水館A

準優勝 いばらき少年剣友会A  
 第三位 猿島剣友会A

額田誠心館A  
 俊水館道場

結城尚武館  
 いばらき少年剣友会B

(中学生の部)  
 優 勝 千束剣友会A

準優勝 (一財)勝田若葉会A  
 第三位 阿見舟島剣道クラブA

芳明館A  
 境剣友会A

(一財)水戸東武館  
 結城尚武館

下館士徳会A

◆令和五年度 第七十回関東高等学校剣道大会茨城県予選会

期日 令和五年六月六日(土)  
 会場 かみす防災アリーナ

(男子個人)  
 優 勝 神賀 士道(茗溪学園高校)

準優勝 梶平 恭吾(水戸葵陵高校)  
 第三位 入江 陽介(水城高校)

第四位 武本 瑠依(水戸葵陵高校)  
 第五位 永原 弘基(茗溪学園高校)

第五位 浅野 達彦(土浦日大高校)  
 期日 令和五年五月七日(日)

会場 かみす防災アリーナ

(女子個人)

優 勝 村田 結依(守谷高校)  
 準優勝 五十嵐 和奏(守谷高校)

第三位 中村 桜子(守谷高校)  
 第四位 今村 真穂(守谷高校)

第五位 鬼沢 姫彩(鹿島高校)  
 第五位 小磯 美結(取手第一高校)

期日 令和五年五月十一日(木)  
 会場 東日本技術研究所武道館

(男子団体)

優 勝 水戸葵陵高等学校  
 準優勝 土浦日本大学高等学校

第三位 茗溪学園高等学校  
 第四位 水城高等学校

第五位 取手第一高等学校  
 期日 令和五年五月十二日(金)

会場 東日本技術研究所武道館

(女子団体)

優 勝 守谷高等学校  
 準優勝 水戸葵陵高等学校

第三位 鹿島学園高等学校  
 第四位 取手第一高等学校

第五位 常総学院高等学校  
 ◆第十五回全日本都道府県対抗女子

剣道優勝大会茨城県代表選手選考会  
 期日 令和五年五月十三日(土)

会場 東日本技術研究所武道館  
 (次鋒の部)

第一位 笠 日向子(筑波大)  
 第二位 大石修子(筑波大)

(五将の部)  
 第一位 駒田奈都(茨城県警察)  
 五将の部代表者

第二位 小堀桃佳 (会社員)

(中堅・三将の部)

第一位 星野若葉 (教員)

中堅の部代表者

第二位 北原亜加利 (医師)

三将の部代表者

(副将の部)

第一位 相馬沙織 (教員)

副将の部代表者

第二位 矢口良子 (主婦)

(大将の部)

第一位 落合弥生 (教員)

大将の部代表者

第二位 鍋山夏子 (自衛隊)

(先鋒の部 (高校生)) 五月七日 (日)

茨城県高等学校関東予選個人で第一位となった次の者を代表選手として決定されました。

第一位 村田結依 (守谷高校)

◆第七十回関東高等学校剣道大会

期日 令和五年六月二日・四日

会場 千葉ポートアリーナ

(男子団体戦)

第三位 水戸葵陵

(女子団体戦)

第三位 取手第一

(女子個人)

優勝 五十嵐和奏 (守谷)

◆第十四回茨城県少年剣道選手権大会 兼全国大会予選

期日 令和五年六月四日 (日)

会場 ひたちなか市総合体育館

(小学生男子の部)

優勝 渡邊煌介 (仁武館)

全国大会出場

準優勝 北川圭都 (いばらき少年剣友会)

全国大会出場

第三位 若林三矢 (鬼怒西剣道クラブ)

全国大会出場

第三位 海老原旬 (小川少年剣友会)

敢闘賞 大蔵 蔭 (益水館)

富岡晏叶 (いばらき少年剣友会)

師岡 歩 (いばらき少年剣友会)

小林峻馬 (いばらき少年剣友会)

(小学生女子の部)

優勝 雨谷 凜 (いばらき少年剣友会)

全国大会出場

準優勝 野本 宙 (結城尚武館)

全国大会出場

第三位 清田真央 (俊水館道場)

全国大会出場

第三位 木村百花 (猿島剣友会)

敢闘賞 小磯ひかり (緑岡少年剣友会)

新谷糸千実 (伊奈剣友会)

雨谷仁香 (いばらき少年剣友会)

佐久間朱那 (いばらき少年剣友会)

(中学生男子の部)

優勝 吉崎 潤 (下館士徳会)

全国大会出場

準優勝 川崎泰知 (芳明館)

全国大会出場

第三位 川島大輔 (いばらき少年剣友会)

全国大会出場

第三位 飯野麟太郎 (千束剣友会)

敢闘賞 田邊陽唯 (波崎修武館)

大島 奏 (総和剣道クラブ)

澁谷健祐 (いばらき少年剣友会)

土島慧葵 (神栖少年剣道教室)

(中学生女子の部)

優勝 佐藤ほの美選手 (波崎修武館)

全国大会出場

準優勝 大蔵茉央 (いばらき少年剣友会)

全国大会出場

第三位 櫻井菜成 (青雲塾剣誠会)

全国大会出場

敢闘賞 小磯結愛 (仁武館)

雨谷星七 (いばらき少年剣友会)

矢口若葉 (巧美会剣道教室)

師岡らら (明信館)

時田迦那 (いばらき少年剣友会)

◆第四十五回全日本高齢者武道大会

期日 令和五年六月五日 (月)

会場 日本武道館

特組 (七五歳〜七九歳)

第三位 佐藤和男

B組 (六五歳〜六九歳)

第二位 張貝義夫

C組 (五五歳〜六四歳)

第三位 増田光男

女子個人戦 B組 (五五歳〜六四歳)

第三位 大塚有子

◆令和五年度国民総合体育大会兼特別国民体育大会剣道競技選手選考会

(成年男女)

期日 令和五年六月十八日 (日)

会場 東日本技術研究所武道館

(成年男子)

先鋒の部

第一位 松崎賢士郎 (筑波大学院)

第二位 黒川 雄大 (筑波大学)

次鋒の部

第一位 阿部 莞太 (警察官)

第二位 山下 拓真 (教員)

中堅の部

第一位 小池 卓司 (警察官)

第二位 矢口二三也 (刑務官)

副将の部

第一位 大輪 竜司 (警察官)

第二位 有田 祐二 (教員)

大将の部

第一位 坂本 隆 (警察官)

第二位 新橋 祐樹 (公務員)

(成年女子)

先鋒の部

第一位 笠 日向子 (筑波大学)

第二位 大石 修子 (筑波大学)

中堅の部

第一位 柴山 久美 (教員)

大将の部

第一位 川上 厚子 (教員)

◆第三十五回全国健康福祉祭えひめ剣道交流大会茨城県代表選手選考会

期日 令和五年六月二十四日 (土)

会場 東日本技術研究所武道館

六十才〜六十四才

優勝 飯田真巳 (代表選手)

第二位 松井宏之 (代表選手)

六十五才〜六十九才

優勝 佐藤次郎 (代表選手)

第二位 石井 修 (代表選手)

七十才以上

優勝 徳村康秀 (代表選手)

第二位 千羽道夫 (監督)

◆第七十一回全国青年剣道大会県予選会

期日 令和五年六月二十四日 (土)

会場 東日本技術研究所武道館

男子

第一位 ひたちなか市 (茨城県代表)

第二位 つくば市

女子 土浦市 (茨城県代表)

令和5年度・6年度 (一財) 茨城県剣道連盟 役員

| 役 職   | 氏 名       |
|-------|-----------|
| 会 長   | 水 田 重 則   |
| 副 会 長 | 香 田 郡 秀   |
|       | 鈴 木 洋 行   |
|       | 清 水 修 司   |
|       | 寺 田 幸 司   |
|       | 中 村 雅 広   |
|       | 雨 谷 益 水   |
| 専務理事  | 齊 藤 克 朗   |
| 常任理事  | 阿 部 昭 彦   |
|       | 宮 本 尚 朋   |
|       | 本 江 義 明   |
|       | 田 中 榮 治   |
|       | 吉 田 信 二   |
|       | 倉 持 利 夫   |
|       | 皆 藤 誠 志   |
|       | 宮 崎 正 雄   |
|       | 直 江 克 也   |
|       | 藤 崎 金 子   |
|       | 大久保 隆 義   |
|       | 石 濱 一 義   |
|       | 平 野 政 弘   |
| 監事    | 横 山 金 一 郎 |
|       | 兼 子 勝 喜   |

| 役 職  | 氏 名         |
|------|-------------|
| 名誉会長 | 小 倉 培 夫     |
| 相談役  | 高 崎 慶 男     |
|      | 佐 藤 成 明     |
|      | 中 里 誠 好     |
|      | 高 山 陽 好     |
|      | 金 谷 光 躬     |
|      | 小 澤 智 智     |
|      | 高 山 能 昌     |
|      | 小 林 忠 雄     |
|      | 平 子 允 秀     |
|      | 宮 本 清 美     |
|      | 大 森 廣 美     |
|      | 古 谷 勲 雄     |
|      | 根 本 武 雄     |
|      | 平 山 恒 夫     |
|      | 安 俊 寿 男     |
|      | 立 野 忠 夫     |
|      | 諏 訪 文 夫     |
| 参与   | 宮 田 忠 幸 紀   |
|      | 石 山 陸 哲 雄   |
|      | 曾 雌 哲 龍 之 夫 |
|      | 野 澤 村 恒 夫   |
|      | 梅 村 恒 夫     |
|      | 糸 賀 睦 夫     |

令和5年度・6年度 (一財) 茨城県剣道連盟 理事

| 指 名 理 事 |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 水 田 重 則 | 雨 谷 益 水 | 村 嶋 恒 德 | 岡 田 宗 久 |
| 香 田 郡 秀 | 齊 藤 克 朗 | 西 野 隆   | 山 下 克 久 |
| 寺 田 幸 司 | 田 中 榮 治 | 井 上 豊   | 林 明 人   |
| 中 村 雅 広 | 吉 田 信 二 | 本 名 和 彦 |         |

| ブロック・地区等 |         | 理 事       |           | ブロック・地区等 |         | 理 事 |  |
|----------|---------|-----------|-----------|----------|---------|-----|--|
| 県 北      | 北 萩     | 石 橋 実     | 県 西       | 坂 東      | 木 村 隆   |     |  |
|          | 日 立     | 柳 橋 広之    |           | 古 河      | 古 谷 芳和  |     |  |
|          | 太 田     | 直 江 克也    |           | 結 城      | 立 堀 和巳  |     |  |
| 県 央      | 水 戸     | 清 水 修     | 鹿 行       | 下 妻      | 石 濱 一義  |     |  |
|          | ひたちなか   | 鈴 木 洋 行   |           | 下 館      | 川 田 淳   |     |  |
|          | 那 珂     | 宮 崎 正 雄   | 職域等・居合・杖道 | 鹿 島      | 宮 本 尚 朋 |     |  |
|          | 大 子     | 石 井 修     |           | 行 方      | 新 堀 義 男 |     |  |
|          | 笠 間     | 塙 清       |           | 学 剣 連    | 阿 部 昭 彦 |     |  |
| 県 南      | 小 美 玉   | 皆 藤 誠 志   | 職域等       | 高 体 連    | 川 崎 臣   |     |  |
|          | 石 岡     | 本 江 義 明   |           | 中 体 連    | 黒 澤 和 敏 |     |  |
|          | 土 浦     | 倉 持 利 夫   |           | 警 察      | 大久保 隆   |     |  |
|          | 稲 敷     | 酒 井 睦 男   |           | 実 業 団    | 笹 嶋 雅 行 |     |  |
|          | 取 手     | 小 野 泰 之 司 |           | 道 連      | 牛 坂 裕 彦 |     |  |
|          | 龍 ヶ 崎   | 椎 名 健 司   |           | 居 合 道    | 平 野 政 弘 |     |  |
|          | つくば     | 飯 泉 省 三   |           | 杖 道      | 松 本 重 雄 |     |  |
| かすみがうら   | 坂 田 正 明 | 女 子 部     | 藤 崎 金 子   |          |         |     |  |
| 県 西      | 桜 川     |           | 穂 山 壽 一   | 高 齢 剣    | 椎 名 士 朗 |     |  |
|          | 常 総     | 小 磯 仁 宏   |           |          |         |     |  |

令和5年度～8年度 (一財) 茨城県剣道連盟 評議員

| ブロック・地区等 |           | 評議員       |             | ブロック・地区等 |         | 評議員     |           |
|----------|-----------|-----------|-------------|----------|---------|---------|-----------|
| 県 北      | 北 萩       | 田 崎 龍 治   | 安 部 和 義     | 県 西      | 桜 川     | 小 川 藤 範 | 小 島 悦 雄   |
|          |           | 田 卷 直 美   | 吉 岡 勉       |          |         | 常 総     | 大 塚 田 英 之 |
|          |           | 大 窪 裕 寿   | 間 中 勝 男     |          |         |         | 坂 東       |
|          | 松 井 宏 之   | 鈴 木 次 男   | 古 河         |          | 神 山 知 久 |         |           |
|          | 石 川 義 雄   | 落 合 茂 樹   |             |          | 結 城     | 岡 部 啓 文 |           |
|          | 岡 部 啓 文   | 假 屋 憲 宏   |             |          |         | 下 妻     | 小 澤 聡     |
| 小 澤 聡    | 北 島 訓 生   | 下 館       | 山 本 雅 文     |          |         |         |           |
| 山 本 雅 文  | 牧 野 喜 則   |           | 鹿 行         |          | 北 沢 真理子 |         |           |
| 北 沢 真理子  | 北 居 健 一 朗 |           |             |          | 職 域     | 戸 崎 昭 夫 |           |
| 戸 崎 昭 夫  | 平 石 雅 裕   | 学 剣 連     |             |          |         | 平 岡 永 照 |           |
| 平 岡 永 照  | 高 橋 修 彦   |           | 高 体 連       |          |         | 米 川 政 宏 |           |
| 米 川 政 宏  | 富 田 武 彦   |           |             |          | 中 体 連   | 岩 間 幸 雄 |           |
| 岩 間 幸 雄  | 小 松 崎 一 郎 | 警 察 団     |             | 徳 村 康 秀  |         |         |           |
| 徳 村 康 秀  | 金 井 信 行   |           | 実 業 団       | 菊 池 勉 幸  |         |         |           |
| 菊 池 勉 幸  | 平 山 一 男   |           |             | 道 団 連    | 荒 蒔 義 幸 |         |           |
| 荒 蒔 義 幸  | 箱 根 勝 巳   | 居 合 道     |             |          | 石 井 收 之 |         |           |
| 石 井 收 之  | 吉 川 増 夫   |           | 杖 道         |          | 菊 池 知 之 |         |           |
| 菊 池 知 之  | 金 井 辰 彦   |           |             | 女 子 部    | 本 間 敬 洋 |         |           |
| 本 間 敬 洋  | 諏 訪 靖 典   | 高 齢 剣     |             |          | 稲 田 雅 志 |         |           |
| 稲 田 雅 志  | 中 山 直 樹   |           | 石 岡         |          | 成 田 宗 伯 |         |           |
| 成 田 宗 伯  | 坂 本 隆 男   |           |             | 土 浦      | 柘 植 朗 良 |         |           |
| 柘 植 朗 良  | 増 田 光 男   | 稲 敷       |             |          | 渡 邊 一 郎 |         |           |
| 渡 邊 一 郎  | 弓 野 政 人   |           | 取 手         |          | 佐 野 毅   |         |           |
| 佐 野 毅    | 伊 藤 政 敏   |           |             | 龍 ケ 崎    | 染 谷 浩 一 |         |           |
| 染 谷 浩 一  | 関 展 秀     | つ く ば     |             |          | 塚 本 哲 也 |         |           |
| 塚 本 哲 也  | 大 塚 有 子   |           | か す み が う ら |          | 小 島 英 資 |         |           |
| 小 島 英 資  | 床 宿 道 廣   |           |             | 小 鈴 木 博  | 松 丸 悟 新 |         |           |
| 小 鈴 木 博  |           | 長 尾 慎 一 朗 |             |          | 棚 橋 新   |         |           |
| 松 丸 悟 新  |           |           | 大 木 勉       |          | 杉 田 和 幸 |         |           |
| 棚 橋 新    |           |           |             | 杉 田 和 幸  | 北 島 正 義 |         |           |
| 杉 田 和 幸  |           | 関 川 淳 一   |             |          | 関 川 淳 一 |         |           |
| 北 島 正 義  |           |           | 川 島 仁 一     |          | 川 島 仁 一 |         |           |
| 関 川 淳 一  |           |           |             | 芝 山 一 弥  | 芝 山 一 弥 |         |           |
| 川 島 仁 一  |           |           |             |          |         |         |           |
| 芝 山 一 弥  |           |           |             |          |         |         |           |



令和5年度・6年度 (一財) 茨城県剣道連盟 地区・職域 会長等

| ブロック・地区等 |   | 会長等   |        | ブロック・地区等  |        | 会長等    |     |  |
|----------|---|-------|--------|-----------|--------|--------|-----|--|
| 県 北      | 北 | 萩 立   | 石 橋 実  | 県 西       | 坂 東    | 木 村 隆  |     |  |
|          | 日 | 立 田   | 柳 橋 広之 |           | 古 河    | 古 谷 芳和 |     |  |
|          | 太 | 田 直   | 直 江 克也 |           | 結 城    | 立 堀 和巳 |     |  |
| 県 央      | 水 | 戸 清   | 清 水 修  | 鹿 行       | 下 妻    | 石 濱 一義 |     |  |
|          | ひ | たちなか  | 鈴 木 洋行 |           | 下 館    | 川 田 淳  |     |  |
|          | 那 | 珂 子   | 宮 崎 正雄 | 鹿 行       | 鹿 島 方  | 宮 本 尚朋 |     |  |
|          | 大 | 子 間   | 石 井 修  | 職域等・居合・杖道 |        | 新 堀 義男 | 会長等 |  |
| 県 南      | 小 | 美 玉   | 皆 藤 誠志 | 職域等       | 学 剣 連  | 阿 部 昭彦 |     |  |
|          | 石 | 岡 本   | 本 江 義明 |           | 高 体 連  | 青 木 一芳 |     |  |
|          | 土 | 浦 倉   | 倉 持 利夫 |           | 中 体 連  | 山 下 克久 |     |  |
|          | 稲 | 敷 酒   | 酒 井 睦男 |           | 警 察    | 岡 田 宗久 |     |  |
|          | 取 | 手 龍   | 小 野 泰之 |           | 実 業 団  | 淀 縄 寛  |     |  |
|          | 龍 | ヶ 崎   | 椎 名 健司 |           | 道 連    | 雨 谷 益水 |     |  |
|          | つ | く ば   | 飯 泉 省三 |           | 居 合    | 平 野 政弘 |     |  |
| 県 西      | か | すみがうら | 坂 田 正明 | 杖 道       | 松 本 重雄 |        |     |  |
|          | 桜 | 川 常   | 飯 島 彰  | 女 子 部     | 大 塚 有子 |        |     |  |
|          |   |       | 小 磯 仁宏 | 高 齢 剣     | 宮 田 武  |        |     |  |

令和5年度・6年度 (一財) 茨城県剣道連盟 委員会

| 委員会名 係       |                | 委員長                    | 副委員長                   | 委 員                     |                         |               |
|--------------|----------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 総 務          |                | 本江義明                   | 倉持利夫                   | 宮本尚朋                    | 宮崎正雄                    | 藤崎金子          |
| 研 修          |                | 阿部昭彦<br>山下克久           | 本名和彦<br>川崎 臣           | 鍋山隆弘<br>井上 豊            | 吉沼正治                    |               |
| 広 報          |                | 村嶋恒徳                   | 金田重保                   | 饗場千晶                    | 宮本 均                    |               |
| 審 査          |                | 皆藤誠志                   | 井上 豊                   | 西野 隆                    | 大窪裕寿                    | 飯田真巳          |
| 選 手 強 化      | 男 子            | 阿部昭彦                   | 大久保 隆                  | 本名和彦                    | 坂本 隆                    | 海老原 孝         |
|              | 女 子            |                        | 中澤裕子                   | 鍋山隆弘                    | 有田祐二                    |               |
|              | 高 校            | 高体連専門部長                | 川崎 臣                   | 高体連剣道専門部 強化委員           |                         |               |
|              | 中 学 校          | 中体連専門部長                | 黒澤和敏                   | 中体連剣道専門部 強化委員           |                         |               |
| 普 及          | リーダー<br>直江克也   | 道場連盟支援<br>学校指導者支援      | 小磯仁宏<br>青木 仁           | 牛坂裕彦<br>寺田英功            | 弓野政人<br>山本裕之            | 上山 修<br>菊地 耕  |
|              | サブリーダー<br>山下克久 | スポーツ少年団支援<br>女子普及支援    | 小松崎一郎<br>大塚有子          | 牛坂恵理子<br>金井優子           | 吉沢匡美<br>大石純子            | 川上 篤<br>松井和子  |
|              | 大 会            |                        | 吉田信二                   | 山本雅文                    | 宮田正順                    | 松井宏之<br>関川淳一  |
| 医 学          |                | 林 明人                   | 石原 明                   | 新澤 岳<br>米山 智            | 川嶋久恵<br>北沢真理子           | 藤田 聡<br>草山美和子 |
| 合同稽古<br>(剣道) | 水戸会場           | 田中榮治                   | 近藤隆夫                   | 小関広一                    | 黒羽淳壽                    |               |
|              | 土浦会場           |                        | 瀧 雅巳                   | 佐藤英雄                    | 染谷浩一                    |               |
| 居合道          | 強 化            | 平野政弘                   | 山崎明正                   |                         |                         |               |
|              | 普 及            | 伊藤政敏                   | 齋藤健一                   | 磯目一路                    |                         |               |
| 杖 道          | 合同稽古           | 山崎明正                   | 塚本哲也                   | 来栖利枝                    | 野原 敏                    | 川嶋丈生          |
|              | 強 化            | 関 展秀                   | 須藤恵一                   |                         |                         |               |
|              | 普 及            | 松下俊夫                   | 中尾宏史                   |                         |                         |               |
|              | 合同稽古           | 篠崎 淳                   | 田中公明                   | 家永賢栄                    |                         |               |
| 幹 事          | 幹事長<br>山本 雅文   | 上山 修<br>羽根渕雅哉<br>松井 和子 | 松井 宏之<br>瀧 義久<br>山下 悦子 | 関川 淳一<br>清水 良則<br>北沢真理子 | 直井 勝彦<br>根本 和典<br>樋口ゆう子 | 宮内 博明<br>塙 泰  |

道場紹介

わたしたちの《どうじょう》

大子剣友会（大子地区）

代表者 小室 学



少人数こそそのきめ細かい指導を心がけ、仲間との切磋琢磨の中で剣道の楽しさを伝えたい。



緑岡少年剣友会（水戸地区）

代表者 横山 金一郎



幼少年の健全育成を図るために、仁義礼智信の精神をもとに日々稽古に励んでいます。



運武館 (土浦地区)

代表者 川島安則



剣道を通じてひとり一人が人間的に成長できるような指導を心掛けています。



下館士徳会 (下館地区)

代表者 谷田部昭広



ボランティアによる指導者及び保護者による運営と地元の剣道経験者と地域が一体となって剣道を通じて修練の場づくりと剣道を含む文化の普及と継承に努める。



県 内 行 事 予 定

| 月                    | 日    | 曜                        | 行 事                      | 場 所              | 主 催         |
|----------------------|------|--------------------------|--------------------------|------------------|-------------|
| 7                    | 1    | 土                        | 県民総体兼国体予選(剣道)            | 内原ヘルスパーク         | 高 体 連       |
|                      | 2    | 日                        | 茨城県居合道大会(全日本予選)          | 東日本技術研究所武道館大道場   | 居 合 道 部     |
|                      | 8    | 土                        | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連       |
|                      | 9    | 日                        | 第1回杖道三段以下審査会             | 牛久運動公園武道館        | 茨 剣 連       |
|                      | 15   | 土                        | 全日本女子剣道選手権予選会            | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 剣道合同稽古会(水戸)              |                  | 茨 剣 連       |
|                      | 16   | 日                        | 居合道合同稽古会                 | 日本農業実践学園体育館      | 居 合 道 部     |
|                      |      |                          | 17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会県予選会 |                  | 茨 剣 連       |
|                      | 17   | 月・祝                      | 茨城県団体選手権大会               | 石岡市運動公園体育館       | 茨 剣 連       |
| 第45回茨城県道場対抗剣道大会兼全国予選 |      |                          | ひたちなか総合体育館               | 茨 剣 連            |             |
| 21・22                | 金・土  | 県民総体兼関東・全国中学剣道大会予選大会     | 東日本技術研究所武道館大道場           | 中 体 連            |             |
| 29                   | 土    | 居合道合同稽古会(土浦)             | 新治トレーニングセンター             | 居 合 道 部          |             |
| 8                    | 2・3  | 水・木                      | 県中学剣道団体選手権               | かすみ防災アリーナ        | 中 体 連       |
|                      | 5    | 土                        | 第40回県スポーツ少年団スポーツ大会(剣道)   | 東日本技術研究所武道館大道場   | 県 ス ポ 協     |
|                      |      |                          | 居合道合同稽古会                 | 日本農業実践学園体育館      | 居 合 道 部     |
|                      | 6    | 日                        | 剣道称号受信者講習会               | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連       |
|                      | 19   | 土                        | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連       |
| 全日本剣道選手権大会茨城県予選      |      |                          | 茨 剣 連                    |                  |             |
| 9                    | 2    | 土                        | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 剣道八段受審者講習会               | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連       |
|                      | 3    | 日                        | 第24回ジュニア剣道大会             | ひたちなか総合体育館       | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 居合道伝達講習会                 | 霞ヶ浦文化体育館・小体育館    | 居 合 道 部     |
|                      | 9・10 | 土・日                      | 東日本剣道錬成大会                | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連       |
|                      | 9    | 土                        | 居合道合同稽古会(土浦)             | わかぐり運動公園体育館      | 居 合 道 部     |
|                      |      |                          | 居合道四段以下講習会               | 霞ヶ浦文化体育館・小体育館    | 居 合 道 部     |
|                      | 16   | 土                        | 居合道合同稽古会                 | 日本農業実践学園体育館      | 居 合 道 部     |
| 茨城県剣道祭               |      |                          | 東日本技術研究所武道館大道場           | 茨 剣 連            |             |
| 18                   | 月・祝  | 剣道合同稽古会(剣道祭の後)           |                          | 茨 剣 連            |             |
|                      |      | 24                       | 日                        | 居合道五段以下審査会(秋季)   | わかぐり運動公園体育館 |
| 10                   | 1    | 日                        | 剣道三段以下審査会(つくば)           | 桜総合体育館           | 茨 剣 連       |
|                      | 7    | 土                        | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 居合道合同稽古会(土浦)             | わかぐり運動公園体育館      | 居 合 道 部     |
|                      | 8    | 日                        | 居合道支部対抗戦・高齢者演武大会         | 霞ヶ浦文化体育館・大体育館    | 居 合 道 部     |
|                      |      |                          | 剣道合同稽古会(水戸)              | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連       |
|                      | 9    | 月・祝                      | 茨城県実業団剣道大会               | リリーアリーナ MITO     | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 居合道合同稽古会(水戸)             | 日本農業実践学園体育館      | 居 合 道 部     |
| 14                   | 土    | 剣道三段以下審査会(水戸)            | 東日本技術研究所武道館剣道場           | 茨 剣 連            |             |
|                      |      | 25・26                    | 水・木                      | 県中学新人剣道大会        | かすみ防災アリーナ   |
| 29                   | 日    | いきい茨城ゆめ国体開催記念・職域対抗剣道優勝大会 | 筑西市・下館総合体育館              | 茨 剣 連            |             |
| 11                   | 5    | 日                        | 武道フェスティバル                | 東日本技術研究所武道館      | 県 武 道 館     |
|                      |      |                          | 居合道中央講習会準備講習会            | わかぐり運動公園体育館      | 居 合 道 部     |
|                      |      |                          | 第40回県少年団研修会・体験、実践発表会     | 日立市十王総合福祉センターホール | 茨 道 連       |
|                      | 11   | 土                        | 常任理事会                    | ウエストヒルズ水戸        | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 居合道合同稽古会(土浦)             | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連       |
|                      | 13   | 月                        | 県高校団体勝ち抜き大会              | かすみ防災アリーナ        | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 剣道四五段審査会                 | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連       |
| 18                   | 土    | 剣道合同稽古会(水戸)              | 茨 剣 連                    |                  |             |
|                      |      | 23                       | 木・祝                      | 県下剣道優勝大会         | 水戸市         |
| 杖道伝達講習会              | つくば市 |                          |                          | 茨 剣 連            |             |
| 25                   | 土    | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター             | 茨 剣 連            |             |
|                      |      | 居合道合同稽古会(水戸)             | 日本農業実践学園体育館              | 居 合 道 部          |             |
| 12                   | 2    | 土                        | 居合道合同稽古会(土浦)             | わかぐり運動公園体育館      | 居 合 道 部     |
|                      | 3    | 日                        | 理事・地区会長合同会議・表彰式          | 水戸三の丸ホテル         | 茨 剣 連       |
|                      | 9    | 土                        | 剣道合同稽古会(水戸)              | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 学校剣道指導者養成講習会             |                  | 茨 剣 連       |
|                      | 10   | 日                        | 第2回杖道三段以下審査会             | 筑西市シルバー人材センター    | 茨 剣 連       |
|                      |      |                          | 第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城大会  | 東日本技術研究所武道館大道場   | 県 ス ポ 協     |
| 16                   | 土    | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター             | 茨 剣 連            |             |
|                      |      | 居合道合同稽古会(水戸)             | 日本農業実践学園体育館              | 居 合 道 部          |             |

| 月            | 日   | 曜   | 行 事                      | 場 所              | 主 催       |
|--------------|-----|-----|--------------------------|------------------|-----------|
| 1            | 4・5 | 木・金 | 茨城旗争奪選抜高校剣道大会            | アダスト水戸アリーナ       | 茨城新聞・茨剣連  |
|              | 13  | 土   | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連     |
|              | 14  | 日   | 茨城県学年別剣道選手権大会            | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連     |
|              | 18  | 木   | 県高校新人剣道大会兼全国選抜大会予選(個人)   | 霞ヶ浦文化体育館         | 高 体 連     |
|              | 20  | 土   | 剣道審判法講習会                 | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連     |
|              |     |     | 居合道合同稽古会(水戸)             | 日本農業実践学園体育館      | 居 合 道 部   |
|              | 25  | 木   | 県高校新人剣道大会兼全国選抜大会予選(男子団体) | 東日本技術研究所武道館      | 高 体 連     |
|              | 26  | 金   | 県高校新人剣道大会兼全国選抜大会予選(女子団体) |                  | 高 体 連     |
|              | 27  | 土   | 県三部対抗剣道大会                | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連     |
|              |     |     | 剣道合同稽古会(水戸)              |                  | 茨 剣 連     |
| 居合道合同稽古会(水戸) |     |     | 日本農業実践学園体育館              | 居 合 道 部          |           |
| 2            | 3・4 | 土・日 | 地域・成年・女子講習会(剣道)          | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連     |
|              | 10  | 土   | 居合道合同稽古会(土浦)             | わかぐり運動公園体育館      | 居 合 道 部   |
|              | 11  | 日   | 剣道四五段審査会                 | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連     |
|              |     |     | 剣道合同稽古会(水戸)              |                  | 茨 剣 連     |
|              |     |     | 居合道演武大会                  | ひたちなか総合体育館サブアリーナ | 居 合 道 部   |
|              | 12  | 月・祝 | 全日本都道府県対抗剣道大会県予選(男)      | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連     |
|              | 18  | 日   | 剣道三段以下審査会(水戸)            |                  | 茨 剣 連     |
|              | 23  | 金・祝 | 剣道三段以下審査会(つくば)           | 桜総合体育館           | 茨 剣 連     |
|              | 24  | 土   | 剣道段位・級位審査員研修会            | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連     |
|              |     |     | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連     |
| 居合道合同稽古会(水戸) |     |     | 日本農業実践学園体育館              | 居 合 道 部          |           |
| 3            | 2   | 土   | 剣道四段～七段受信者講習会            | 東日本技術研究所武道館大道場   | 茨 剣 連     |
|              |     |     | 剣道合同稽古会(水戸)              | 東日本技術研究所武道館剣道場   | 茨 剣 連     |
|              | 9   | 土   | 居合道合同稽古会(土浦)             | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連     |
|              | 10  | 日   | 居合道四段以下講習会(後期)           | 霞ヶ浦文化体育館・小体育館    | 居 合 道 部   |
|              | 16  | 土   | 剣道・杖道合同稽古会(土浦)           | 新治トレーニングセンター     | 茨 剣 連     |
|              | 17  | 日   | 常任理事会・理事会                | ウエストヒルズ水戸        | 茨 剣 連     |
|              | 23  | 土   | 居合道合同稽古会(水戸)             | 日本農業実践学園体育館      | 居 合 道 部   |
|              | 31  | 日   | 第55回全国選抜少年剣道錬成大会         | 水戸市              | 水 戸 東 武 館 |



事務局だより

令和五年度の当連盟の事業がスタートしました。  
五月二十八日には小倉前会長から水田新会長に代わりました。  
今後は水田会長のもと、新たな目線で業務を運営し、事務局員夫々が責任を持って業務に邁進していきますので引き続き宜しくお願いいたします。  
最後に小倉前会長は事務局に十三年二か月と長年勤務され、事務局員の良きアドバイザーでもありました。ご指導いただいたことに感謝申し上げます。

編集後記

令和五年度の役員改選により、広報委員会も委員会表の通り、村嶋、金田、宮本、饗場の新しい4名で取り組んでいます。  
茨剣連広報67号ができました。この67号は旧委員の起案と資料収集を新メンバーで引き継ぎ編集したものです。旧委員には改めて感謝申し上げます。  
広報部の目標の一つに「会員の拡大支援」が掲げられています。茨剣連の会員の拡大の大事な要素は、「剣道って素晴らしいな」と会員自ら感じることから始まるものと、委員は考えを共有しています。今回の広報にも幼少年の笑顔、中高生の笑顔、昇段の報告、百歳の立ち合い、新会長他役員の熱い思いを掲載できました。  
皆様が今年度、鉄舟先生の書(表紙)の『寿』でありますように。(村嶋記)

茨 剣 連 廣 報

発行日 令和五年七月

水戸市堀町一六二―一三

発行人

一般財団法人

茨城県剣道連盟

広報委員長 村嶋恒徳

委員 金田重保

委員 饗場千晶

委員 宮本均

印刷 野崎印刷紙器株式会社



第 32 回 全国高等学校剣道選抜大会 優勝 茨城県立守谷高等学校  
(R5.3.26～28)



第 50 回記念 魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会 優勝 水戸葵陵高等学校  
(R5.3.29～31)